



縮小されるというけれど

「いつもなら夏休みのはずなのに」というちょっと晴れない気持ちに合わせたように、天候もなかなかカラッとした日になってくれませんでした。そしてコロナの感染状況も予断を許しません。みなさんにお渡ししてあるロイロノートとeボードのIDはそのままずっと使えますので、対面で質問できない時にもどんどん利用してください。場合によっては夏期講習もZoomを使ってのリアルタイムのリモート授業に途中で切り替える可能性もあります。

さて、中3のみなさんが受験する来春の高校入試は今までの前・後期入試から1回の入試に変更となります。それだけでも大変なのに、コロナの影響で授業時間が足りず、学習できそうにないところを数・理・社の入試問題から除外するということが千葉県教育委員会から発表されました。状況の変化への対応が必要です。しかし、その内容をよく見てみると範囲が縮小されるのは、中3で最後に習う本当にごく一部の单元だけだということがわかります。数学を例にとると「標本調査」だけで、他府県のように「相似」や「三平方の定理」などまで除かれることはありません。ところが、みなさんの通う中学の授業進度は例年よりかなり遅れていて、本当に入試前までに「三平方の定理」を含む総合的な演習ができるかどうか心配です。だからこの夏の学習はとても大切になってきます。復習と予習の両方をしっかりしておく必要があります。

ところで今年は中間テストを中止した中学と、日程を遅くして実施した中学とに分かれました。実施した中学で今回順位が上がった人は自信を持っていいでしょう。また実際に答案が返却されてがっかりの人は、悔しいその気持ちと具体的に見えてきた反省点（どこで失点したのか）をしっかり記憶にとどめておけば、次は必ず挽回できます。でも目の前の嫌なテストをとりあえずやり過ごしたから、あとはもう忘れてしまおうという人は要注意。毎回その繰り返しで何の積み重ねもないままあっという間に入試を迎えてしまいます。もちろんそれは中3だけでなく他の学年や高校生にも言えますよ！